

園藝曆 (十月 神無月)

大岩金

寒露 九日頃

氣節 土用 二十一日頃

霜降 二十四日頃

觀賞

澄み渡つた大空をあほいでは又自然と人工とによつて育てられた畑の花に目を下すことが度々あります。子供の元氣さをうつしたやうな直赤なサルビヤはまだ今月になつて勢盛んなものであります。スツとしてやさしさの感じられるのはコスモス花と、葉と一寸調和のとれない氣持のするシオン。是等は今月の觀賞の主なものでありませう。その外葉物ではコリウス、アルタナンセラ、イレシネ等は鉢に

あつても畑に下しても美事であります。

秋菊に先立つて有禪菊、濱菊も見頃になり第二回目のダリヤの開花も春よりか一層立派に見えます。

又日ましに色づく木々の紅葉は誠に美しい眺めであります。

半ば頃に色づく楓を始め、柿、ニシキギ、銀杏、蔦、櫻ボブラ、スズカケ、ハンテンボク、アラギリ等大方の落葉樹はこうして或は紅に或は黄に、赭に又は褐など夫々に染めなしてやがては一雨一風毎に枝を離れてゆくのであります。

仕事

一、繁殖

イ、株分

播種に續いて春咲草花の株分を致します。その主なものは雛菊、アルメリア、蒿蒲類、シヤスターデージー、ストケシア、觀賞用除蟲菊、デキタリス、泡盛草等であります

ロ、挿木

落葉物の挿木は春發芽前の挿木と同じく今月から來月にかけて行ふのであります。中にもツルバラの如き春早く芽の動きまますものは秋のうちに挿木した方が活着し易いやうであります。

挿木します注意としては追々に寒さに向ふのでありますから挿床はなるべく日當のよい所に設けておくのであります、又挿した後もしつかりと壓へておいて少しでも土のうき上らないやうにしておきます。

草花類ではマツバギク、美櫻、ヘリオトロップ、ランタナ、サルビヤ等挿木するのであります。是はフレイム又は是に準じた箱の準備が必要であります。

二、移植

庭木類の移植の好季であります。又果樹の苗木もこれから十二月までが植付時になつて居ります。

芝の張付も今月中にすまざなければなりません。

三、フレイムの用意

普通使つて居りますフレイムは幅一二〇釐長三六〇釐の大きさの木框であります。幼稚園では是に準じたもので大きさも今少し小さい方が管理がし易いかと思ひます、都合によつてはビール箱を利用して底をぬき上は硝子障子をかければ結構であります。油障子にしても差支へありません、又框は光線のなるべく澤山入りますやう前側を少し低くしておく事が必要であります。

かうした手製のフレイムの中には月末から畑に植えておいては霜除をしなければならぬやうなもの又はフレイム内で栽培するものとしては低温度で育つものを入れる事に致しませう。小さい箱のことです。すぐ一ぱいになりさうです。先づパンジーの一鉢二鉢、可愛い雪割草も福壽草も入れたい氣がします。美女櫻、マツバギク、などもなるべく澤山挿した挿箱も一つは入れたいものです。

四、蔬菜の植付

草苺の蔓を親株に近い方から第三節位迄の所を一節毎に切り離し是も植付け致します。

百合の類も半日蔭の所に植付けておきませう。

五、收穫

イ、採種

サルビヤ、コスモス、雁來紅を始め秋咲草花の種子を熟すにつれて採つておきませう。わけてもサルビヤは注意しませんと地に落ち易く適期をすこしてはほとんども採種が出来なくなりませう。花瓣のやうに見える萼は赤くても中をのぞいて種子が黒く見えれば採つてよいのであります。

ロ、蔬菜類

落花生の莖葉が黄ろくなり七分通り落ちてきましたならば掘り取つてよいのであります、次へ／＼と續いた實みんなどで仲よく引張らせませう。

苦瓜ヒイももう收穫の終りをつける事になりました。

下旬になりますと料理菊の花が開きかけますから隨時收穫を始めてよろしいのであります。

新刊紹介 「子供の舞踊」

先きに「エホンシヤウカ」が、東京音楽學校の日本教育音楽協會によつて出版されましたが、此の度又、同協會によつて「子供の舞踊」と云ふ、二卷より成る本が出版になりました。之は「エホンシヤウカ」の大部分並に「新尋常小學唱歌」の一部の歌に振をつけたもので、序文にもございます様に、印牧季雄、澁井二夫、土川五郎、戸倉ハル、三浦ヒロ、宮寺嘉一の六氏に編纂並に振付をされたものでございます。どちらへも偏せず、幼稚園に採用して適當のものが多數ある事を御知らせ致します。發賣所、其の他は左の通りでございます。

發賣所 音楽教育書出版協會

東京神田區猿樂町三〇

振替東京六四七七〇番